

2024 年度事業報告

50 周年、そしてこれからの未来へ

2024年、OAC は 50 周年を迎え一つの時代の区切りの年となりました。

昭和・平成・令和と年号も変わる中で世界はアナログからデジタルへとシフトし、それに伴うグラフィックデザイン業務の衰退は、会員社の退会をまねき、厳しい状況からスタートとなり我々の生業であるデザイン・クリエイティブの大きな変革にちゃんと向き合う年となりました。

強いモノが生き残るのではありません。変化に対応したモノが生き残ると言われています。

OAC も変化に柔軟に対応していこうと、様々な施策を打ち立て実施してまいりました。

相談される（選ばれる）制作会社、デザイナー・クリエイターとなるために何が必要か等、会員社の皆様と、これから先のあり方を共に議論しました。

デジタル (AI) 革命の今、新しいデザインの考え方・クリエイティブの方向性などが問われています。

まさに、シン・デザイン/シン・クリエイティブの時代へ突入したと言えるのかもしれませんが。

新たな時代のデザイナー・クリエイターは受注者意識にサヨナラし、企業のビジネスを成功に導くための併走者として、社会のビジネスを切り拓く「新デザイン・クリエイティブブレイン」=意図的に企画・設計し提案する意識と行動（両方とも主体的に）を持つべきだと考えます。

（言葉を平たくすると“おせっかい意識”）

2024 年下期は、入会社（者）も7社（者）を数え、ようやく退会にも歯止めがかかってきました。

OACも更に意識を大変革する時代です。今後も OAC は、デザイン・クリエイティブの価値を更に高める多様な活動と、プロフェッショナルなクリエイティブ集団の認知を高め、社会から相談される団体になり会員社の皆様と共に社会に貢献し、学び、成長・進化し続けてまいります。

変化に柔軟に。そしてしなやかに、さあ！新しい時代を作りましょう！

理事長 名久井 貴詞

50 周年を迎えた OAC

前年の 2023 年度はコロナ禍が明けたとはいえ、これまでの影響は大きく退会社が 18 社を数え協会運営としても厳しい状況からのスタートとなりました。後述する決算報告にも記していますが、事務局人件費の削減を実施。また 50 周年事業として行った「未来を拓くニッポン・デザイン展」は事前に積立っていたもので開催。そして今後を踏まえ、更なるOAC会員社のメリットにしようとOACサイトのリニューアルを断行。当期の経常増減額は約 541 万円のマイナスですが、上記 2 項目の費用（約409万円を除くと）実質 132万円の赤字となりました。OAC サイトの更新は今後事務局が中心となり運営いたしますので、従来 150 万ほど掛かっていた費用を 2025 年度以降は削減いたします。このような厳しい状態ですが、会員の皆さんの今後に繋がることを第一義に運営してまいりました。なお、2024年は個人会員制度も設け、2名の方が参加されました。また正会員・賛助会員の参加もあり、新たな50年に向け更にデザイン・クリエイティブの価値を高めて行こうと、邁進した1年となりました。

会員動向

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日（入退会）

		正会員	賛助会員	個人会員
入 会	1	Fiom 合同会社	（一社）フリーBGM 協会	目黒 憲一
	2	(株)AI-BOOST	TCR's	入江 桧
	3	シブニデザイン(株)		
退 会	1	NISSHA エフエイト(株)	(有)イメージプラネット	
	2	アップワード(株)	(株)スカイアーチネットワークス	
	3	(株)樋口事務所	(株)電通クリエイティブキューブ	
	4	(株)アーツ		

※(株)電通クリエイティブキューブは、(株)電通クリエイティブXと統合し、(株)電通クリエイティブピクチャーズとなりました。

2025 年 3 月 31 日現在の会員社数

◇ 正会員社	54 社（前年同月比	98.1%：1社減）	前年 55社
◇ 賛助会員社	53 社（前年同月比	98.1%：1社減）	前年 54社
◇ 個人会員	2 名	2 名増	前年 0 社
合計	109 社（名）（前年同月比	100%：増減なし）	前年 109 社

正会員社数 54社（2025年 3 月 31 日現在）（五十音順）

1. (有)アイル企画	26. (株)スパイス	50. (株)プランテーション
2. (株)アクロバット	27. (株)センシュウ・アド・ クリエイターズ	51. (有)ブレインカフェ
3. (株)アズワン	28. (株)創芸社	52. (株)プロモーションズライト
4. (株)アド・プランニング研究所	29. (株)ソリッド・プラス	53. (株)ホシ・デザイン
5. (株)アドブレン	30. (株)たきコーポレーション	54. (株)読広クリエイティブ スタジオ
6. (株)一星企画	31. (株)ティ・エー・シー企画	
7. インプレッション(株)	32. (株)ティー・ケー・オー	
8. (株)ウイルコミュニケーション デザイン研究所	33. (株)TCD 東京オフィス	
9. (株)AI-BOOST	34. (株)ティーディーエス	
10. (株)エージェ	35. デザインプール(株)	
11. (株)エー・ティ・エー	36. (株)電通クリエイティブ ピクチャーズ	
12. (株)エディターシップ	37. (株)東京アドデザイナーズ	
13. (株)オックス	38. (株)東京グラフィック デザイナーズ	
14. (株)オフィスバンズ	39. (株)東京ニュース	
15. (株)オンド	40. (株)東北新社	
16. (株)ガッシュ	41. (株)日本デザインセンター	
17. コアプランニング(株)	42. (株)2055	
18. (株)サクラアルカス	43. (株)ノエ	
19. サン・クリエイティブ(株)	44. (有)バウ広告事務所	
20. シブニデザイン(株)	45. (株)博報堂プロダクツ	
21. (株)スキップ	46. (株)ハドル	
22. (株)スタジオゲット	47. (株)広瀬企画	
23. (株)スタヂオ・ユニ	48. Fiom 合同会社	
24. (株)ステッチ	49. フェロールーム(株)	
25. (株)スナップ		

賛助会員社数 53 社（2025 年 3 月 31 日現在） （五十音順）

1. RX Japan(株)	20. 多摩美術大学	36. 専門学校日本デザイナー学院
2. アダムシナプス	21. タンデムクロス(株)	37. 日本電子専門学校
3. (株)アド・テクニカ	22. TCR's	38. 野口会計法務事務所
4. (一社)Interactive Communication Experts (I.C.E.)	23. (株)電通	39. (株)博報堂
5. 大阪芸術大学	24. (株)Too	40. (株)バルック
6. (株)大塚商会	25. 東京グラフィックコミュニケーションズ工業組合	41. (株)二葉企画
7. (株)オリコム	26. 東京工科大学	42. (一社)フリーBGM 協会
8. キャンマーケティング ジャパン(株)	27. 東京コミュニケーションアート専門学校	43. 町田デザイン&建築専門学校
9. (株)光画	28. 東京造形大学	44. マルキンアド(株)
10. (株)ジェイスリー	29. 東京デザイン専門学校	45. 武蔵野美術大学
11. (株)シュガー	30. (株)トラック	46. (株)メディアネットワーク
12. (株)ショウエイ	31. (株)日広社	47. (株)モスデザイン研究所
13. 女子美術大学	32. (株)日庄プラスワン	48. (株)モリサワ
14. (株)スタジオテック	33. (株)日東装備	49. (株)山崎デザイン事務所
15. (株)精美堂	34. (一社)日本アド・コンテンツ制作協会	50. 山脇美術専門学校
16. (株)宣伝会議	35. 日本工学院八王子専門学校	51. (株)ユウクリ
17. (株)セントラルプロフィックス		52. (株)ライトアップ
18. (株)第一製版		53. (株)玲企画
19. (株)竹尾		

個人会員数 2名（2025 年 3 月 31 日現在） （五十音順）

1. 入江 絵
2. 目黒 憲一 STUDIO MEGURO

三陸鉄道カレンダー 2025 年版 制作

宮沢賢治のフレーズで三陸鉄道と三陸を支援。

幾多の困難から立ち上がる三陸鉄道とその沿線を支援するために始めた本企画も4回目。今回も宮沢賢治のフレーズを各月のテーマとし、賢治の物語の世界を現代に融合させる試みとしました。そして宮沢賢治が描いた理想郷「イーハトーブ」=岩手を、そして三陸を訪ねてもらいたい！宮沢賢治の世界観を、知るキッカケにしてもらいたいと制作しました。

イラスト・絵画を公募・ギャラリー列車の運行

昨年同様、全国公募にてイラストや絵画を募集。

OAC 会員社クリエイターを含め、全国から71 作品が寄せられ(前回比 97%)、全作品を掲出したギャラリー列車が2024 年10月、三陸沿線を運行いたしました。

11 作品を選考し、カレンダーに。

選考是三陸鉄道さんと当協会にて実施。

表紙と12月(雨ニモマケズ)は担当委員会で制作、1月～11月の作品を選考しカレンダーに仕上げました。なお、巻末にはオススメ情報として沿線の見所やグルメ情報、そして宮沢賢治ゆかりの場所などを記載。

「イーハトーブ」=岩手を、そして三陸を訪れていただける一助になればと思います。

※ カレンダー仕様:A4(展開 A3)サイズ28P

PR への貢献

ギャラリー列車の運行初日には、地元岩手のテレビ局、新聞社などが取材。カレンダーも好評で、ほぼ完売とのことでした。



応募作品等は HP をご覧ください

<https://www.oac.or.jp/kuribora/santetsu2024/result.html>

第8回 想いを伝えるカードデザイン大賞



応募総数 88 点 (前回比: 73.9% 前回数 119 点)

専門学校 5校 (78 作品)

大学 3校 (7作品)

一般 3名 (3作品)

審査状況

今回の選考委員は、アートディレクターの田中せり氏、美術家/漫画家の杉浦由梨氏、プロガー/ライターのかんそう氏、そして協賛企業2社、ならびに当協会専務理事が選考にあたり、各賞を決定しました。

贈賞式

開催日: 2024年 11 月23日(土)

会 場: ZOOM オンライン

今回も贈賞式はオンラインにて実施。受賞者の方が審査委員の方から直接選考理由を聞く機会となり、お互いのコミュニケーションも図れたと思います。



大賞 作品



OAC 特別賞 作品



受賞作品は HP でご覧ください。

<https://www.oac.or.jp/gcawards2024/prize2024/>

【 学生対象コンテスト 】

第 13 回学生広告クリエイティブアワード



応募学校数：90 校（前回は 94.7%：前回応募校 95）

高等学校 22 校（前回参加校数 24 校）

専門学校 30 校（前回参加校数 30 校）

大学 38 校（前回参加校数 41 校）

応募総数：873 点（前回は 102.9%：前回応募 848）

グラフィック作品 777 点（前回応募数 735）

映像作品 96 点（前回応募数 113）

今回も昨年に引き続き、全日本空輸(株)、(株)モリサワ、(株)Too/COPIC の 3 社にご協力いただきました。

授賞式は今回もオンラインで開催。今回も各企業ごとに分かれて（部屋割りし）受賞した学生さんと企業担当者の方との話し合いの場を設けました。



徐々にではありますが、デザインの前段階で企業や商品、生活者のことを考えたうえで、表現に入る作品も増えてきた印象です。今後もデザインの「考え方」を意識し、常にクリエイティブであり続けてもらうために継続いたします。



受賞作品は HP でご覧ください。

<https://www.oac.or.jp/news/2264/>

「アイデアで社会をより良くするコンテスト」ですが、2024 年度は一旦休止し、内容を見直す年といたしました。過去 12 年間の実績を更に向上させ 2025 年度は再開予定です。

ココロもノセルー行タクシー 東京のタクシー新時代

本企画の定着を目指して

2024年は、昨年同様に 20 台のタクシーに 3 つのフレーズをラッピングと規模は縮小しましたが、この企画を定着させタクシーへの注目度向上を図るべく実施。2019 年・2022 年・2023 年そして 2024 年で 4 回目となりますが、民放のクイズ番組などにもフレーズが取り上げられるなど、徐々にではありますが、浸透しつつあります。



コピー（フレーズ）の応募総数は、17,310 本！

今回ラッピングされるのは僅か 3 本と狭き門でしたが、17,310 本のフレーズが寄せられました。
(前回は応募数: 11,750 本: 前回比 147.3%)



東京ハイヤー・タクシー協会選考の 3 フレーズ

ラッピングされたのは、以下のフレーズとなります。

8 月の熱い東京を走りました。

- AI に 真似のできない おもてなし
- 今だけは 私だけの 専用車
- 快適と 安心乗せる ニ刀流

ラッピングには至りませんでした。が、入選等々のフレーズもご紹介。

- 乗った 眠った 家だった
- タクシーは東京の避暑地です。
- あせも あせりも 止めましょう
- 心の荷物が、多い日も。
- 全力のあなたを、全力で送ります。
- ギリギリ間に合うと、少し嫌われる。
- 急いでる間に ゆっくりしてください
- 乗れば距離が縮まります



選出されたフレーズの一覧は下記よりどうぞ！

https://www.oac.or.jp/taxi_copy2024/result.html

未来を拓くニッポン・デザイン展

日本広告制作協会(OAC)設立 50 周年事業

開催期間:2024 年 5 月 17 日(金)~19 日(日)

会場:渋谷ヒカリエ 8F 8/COURT

来場者数:2,050 人 (3 日間 Total)

「デザイン」の視点からニッポンを俯瞰し、未来を拓く力を再発見!

2022 年から企画に入り、日本文化に根付いた表現技法やデザインの魅力を再発見してもらうことをコンセプトとし、OAC 会員社はもとより全国のクリエイターの持つ視点でニッポンの魅力とチカラを再発見し、時代を切り拓く「デザインのチカラ」で日本に元気と自信を取り戻したい!この想いを表現し発表できる場として構成いたしました。

開催費用は特定費用準備資金として積立

準備資金として 300 万円を積立て、その範囲内で収まるよう計画。会場の選定は予算の兼ね合いもあり、難航しましたが、渋谷ヒカリエ 8/COURT にて「クリエイター育成プラン」の企画公募があることを知り、企画書を提出し採用されました(会場費は通常 1 日 40 万円のところ、1 日 8 万円と抑えられました)。なお、総額 275 万ほどの費用にて予算内で完遂いたしました。

展示内容

➤ 日本のデザインの考え方を学ぶ(パネル展示)

引き算の美学

異文化受容と創造

先端と伝統の邂逅

遊び心の系譜

風土に根ざす発想

自然との共生

➤ OAC 会員社 7 社が再発見した作品展示

○ 新潟・村上の塩引鮭(風土に根ざす発想)

(株)エディターシップ/フェロールーム(株)

(株)東京グラフィックデザイナーズ【共同制作】

○ ひび、大切に生きる。金継ぎと日本の私たち

(引き算の美学)(株)東京アドデザイナーズ

○ 角隠し おツノ美学。(遊び心の系譜)

(株)スタジオ・ユニ

○ 鼠磁 工芸のモジュール化(先端と伝統の邂逅)

(株)アクロバット

○ スーパーカブ 新しい乗り物が“暮らし”を

デザインした(異文化受容と創造)

(株)東京グラフィックデザイナーズ

○ 「おもてなし」×「サステナブル」

(異文化受容と創造)(株)アドブレーション

○ 箱しばい (遊び心の系譜)(株)博報堂プロダクツ

➤ 一般参加作品

○ 伝統工芸輪島塗「WAJIMANU RE BORN」

映像作品 (株)たきコーポレーション

○ 土佐典具帖紙 グラフィック 3 点&映像作品

(株)東急エージェンシーDepart.

○ 日本画とピクトグラム融合(若沖&ピクト)

○ 気候風土との共生・活用・SDGs(細工蒲鉾の鯛)

○ 箱に宿る。(大館曲げわっぱ)

○ Think Peace(和菓子デザイン)

○ 繋ぎ目(縁側、外と内の交流)

○ 例えば、球体を作るのは難しい。(日本の技術力)

○ 米を“造”る(日本の稲作)

○ Mt. HI RA ME KI(富士山)

○ ヨセ木 ステ木(寄木細工)

○ 木桶造りを次世代へ繋ぐ(醸造用の木桶)

(株)エディターシップ/株)博報堂プロダクツ

(株)東京グラフィックデザイナーズ【共同制作】

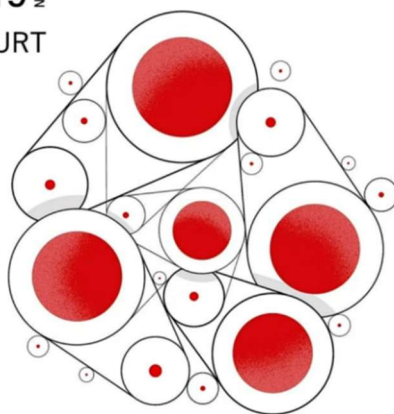


2024 5 17^{FRI} → 19^{SUN}

渋谷ヒカリエ8F 8/COURT

入場無料

REDISCOVER



NIPPON DESIGN

OAC
公益社団法人
日本広告制作協会

公益社団法人 日本広告制作協会 (OAC) 設立50周年事業

未来を拓くニッポン・デザイン展



詳細はコチラ

<https://www.oac.or.jp/news/1538/>

「賃金」について

開催日:2024 年 4 月 16 日(火) 会場:OAC 事務局
(参加者)OAC 経営委員会メンバー(13 名)

賃金

2024 年諸物価の高騰もあり、政府は「賃上げ」を推奨。しかしそれに対応できる売上・利益を確保できるかどうか企業が企業の課題でもあります。このような中「賃金」をテーマに、各社の取組みなど本音で語り合う機会となりました。

■ 主な論点

- 成果への報い方と給与のバランス
- 辞めてほしくない人/辞められたら困る人
- 評価制度・査定方法
- 給与と賞与／給与額の実情
- 定年と再雇用
- 各種手当
- デジタル系人材の採用が難しい

■参加者の声

- 他社の状況を知ることができ参考になった
- 賃金を決める評価方法を知りたく参加した
- 各社の空気感やベースの考え方などは知ることができた
- 制作会社は斜陽産業という言葉を実感することが多く、経営的に厳しい時代ですが、今後は会員各社が3~5年先をどう見据えているのかも議論してみたい

生成 AI について考える

開催日:2024 年 6 月 18 日(火) 会場:OAC 事務局
(参加者)OAC 経営委員会メンバー(18名)

生成 AI

本会に先立ち、「生成 AI」に関するアンケートを実施。アンケート回答者(21 社)の 8 割は何かしらのかたちで生成 AI を使用。コピーやデザイン案の作成・プレゼンや企画のアイデア出し等で使用している様子。各社の取組みと今後の課題や展望を意見交換。

■ 主な論点

- 活用状況
 - ・ 事業開発分野
 - ・ デザイン・クリエイティブ分野
 - ・ 社内の情報共有分野
- AI はアシスタント
- プロンプトでの質問力向上と今後の研修や育成のあり方
- 職種によって求める AI が違う
- 企業が AI でロゴなどデザインする時代?
- AI の理解を深める教育の必要性
- クリエイティブ・クリエイターの価値をどうつくっていくか
- AI を使いこなし、良いものを見極め、判別し、絞り込めるディレクターであるべき

時代の波に乗る!「選ばれる広告制作会社・クリエイター」への道筋 Part1

開催日:2024 年9月 25 日(水) 会場:OAC 事務局
(参加者)
OAC 経営委員会・プロフェッショナル委員会メンバー
(23 名)



昨年設立したプロフェッショナル委員会との合同開催。
AI の台頭や企業の内製化の波により、広告制作の価値
が揺らぐ中「今後のプロフェッショナルのあり方とは何か」
「選ばれる制作会社・クリエイター」とは何か討議。

■ 主な論点

- 「選ばれる制作会社・人材」とは何か?
 - ・ 信頼され相談される関係構築
 - ・ 「何でも出来る」はセールストークになるのか、「強み・特徴を活かす」方向か
- 継続的に選ばれるには?
 - ・ 「1 回目の選定」と「2 回目以降のリピート」は別物
- これからのプロフェッショナルな人材とは?そのため
の教育とは?

時代の波に乗る!「選ばれる広告制作会社・クリエイター」への道筋 Part2

開催日:2024 年 10 月 30 日(水) 会場:OAC 事務局
(参加者)
OAC 経営委員会・プロフェッショナル委員会メンバー
(18 名)



前回に引続き Part2 の開催です。前はどちらかとい
うと会社組織の内容が多かったので、選ばれるクリ
エーターとは何かを中心に討議いたしました。

■ 主な論点

- 選ばれるクリエイター像
- クリエイターは普通の会社員ではいけないので
は。クリエイターは信頼等、様々なものを勝ち取る
人であるべきではないか。
- 若手クリエイターの傾向と課題
 - ・ 自分の色を出したい志向が強い(仕事より自己表現重視)
 - ・ 仕事は仕事、やりたいことは別、という割り切り型が増加
- 会社やクリエイター個々人の「見える化」が必要

選ばれる制作会社、クリエイターであることが今後も求められてくるはず。両日とも活発な議論が展開されました。特にクリエイターに関しては、クライアントの想いを真剣に考え、それに全力で応え、信頼されているタイプ、思いもしないアイデアを出し続け、指名発注されるタイプの実例も出され(しかし、そんな彼らに若手がなかなかついてこれないという話も)、刺激を受ける内容となりました。

「またとない」を楽しむデザイン ～いかなる心構えでデザインに取り組むべきか、 次世代クリエイターへのメッセージ～

開催日:2024 年 11 月 26 日 (火)

会場:(株)日本デザインセンター POLYLOGUE

講師:株式会社日本デザインセンター 専務取締役

色部デザイン研究室室長 色部 義昭 様

参加者:52 名

会員社でもある日本デザインセンターの
POLYLOGUE リニューアルに伴い、その見学と色部
様の講演を行いました。

色部デザイン研究所

<https://irobe.ndc.co.jp/>

■ 主な論点

- 本質を見極め可視化する
- またとない を楽しむ
 - ・ またとない=唯一性。全てのプロジェクトに「その時しかない要素」がある。
 - ・ 限られた予算・空間・条件を逆に創造性の糧とし、デザインの本質を追求する

様々な事例を通し、上記 2 項目に当たる具体例が提示されました。

また、色部様からは

「「またとない」ということを違う言い方をすると、「唯一性」という言葉になるかと思います。クライアントは、お金を払ってデザインを作ってもらおうと皆さんにも依頼されていると思いますが、それはどこかで見たものを作ってほしい(たまにそういうオーダーされることもあるかもしれませんが)とはなりませんよね。

クライアントとしても、あるいはデザイナーとしても、やっぱり今まで世の中にない唯一無二のものを作っていくということがモチベーションになりますし、人間がデザインしていくことの価値かなと思っています。

今回こういうテーマを掲げたのは、AI が進化していき、自分たちの仕事はどうなっていくのか、特に経営層の方は不安を持たれていると思いますが、人間がやる仕事としては、もっと違う、むしろ唯一無二のものを探っていくようなことになるんじゃないかなと思っています。それが AI にとって変わらない、人間ができる一つのクリエーションなんじゃないかなと、僕個人は思っています」との言葉も。



CREATOR FEST2024 開催

開催日:2024 年 7 月 12 日 (金)

時間:17 時~20 時

17 時 ~ (クリエイティブディスカッション)

18:30 ~ (交流会)

会場: (株) Too ギャラリー Too

参加者数:21 名

ココロのドアも開けましょう、これからの一歩のために

CREATOR FEST は、ともすれば PC の前から離れないクリエイターにもっと多くの刺激を受けてほしいという経営者の皆さんの声を受け、開始しました。

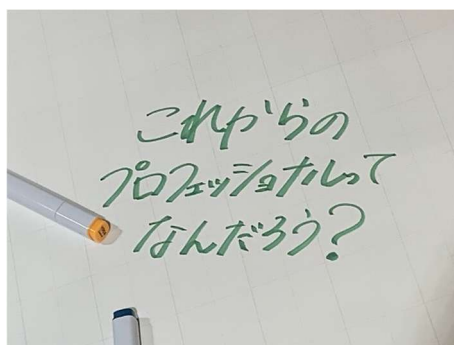
しかしコロナ禍もあり中断。その間に在宅ワークも進み、より引きこもりがちな毎日に。しかし、デジタルだ AI だと言っても、結局は様々な人の考え方を知ることや、繋がりや交流などを通し、刺激を受け成長していかなければなかなか未来に繋がりません。クリエイティブの未来を担う若手同士が会社等の垣根を越えて語り合い、横のつながりを作り更に前進してほしいと思います。

テーマ「これからのプロフェッショナルって何だろう？」

この場は、批評の場ではありません。ブレインストーミングのように、そうか、そんな考えもあるのかと「気づき」の場、刺激を受ける場です。雑談しながら、ワイワイガヤガヤと自分の考えを述べ合う場です。

終わったら、交流会。知らない者同士でしょうが、話し合ってきたおかげで、既にココロのドアも開いているはず。軽食をつなみながら更に交流を深めましょう。

と、募集をかけました。集まった皆さんは、すぐに打ち解けていました。また交流会でも話は尽きない様子でした。初対面の知らないもの同士が、仕事を離れ刺激を受け合う機会として、コロナ明けの復活開催ですが、今後も必要な場であることを再認識いたしました。



開催の様子はコチラ

https://www.oac.or.jp/creator_fest2024/

若手クリエイター向けデジタル関連セミナー

公益事業

生成 AI「Adobe Firefly」の活用方法と最新機能

開催日:2024 年 10 月 1 日(火) ZOOM ウェビナー
申込者:196名

今回は、今後避けては通れない生成 AI のことを学んでほしい企画いたしました。タイトルにある生成AIのみならず、他の生成AIのこと、著作権のことなど講師の前田さんには幅広く語っていただきました。
受講者のアンケート回答も、ほぼ満足されていた様子。常に進化するAI、今後も開催していきたいと思います。

学生支援セミナー

公益事業

東京学生広告研究団体連盟（東広連）支援

- 同団体「第 65 回学生広告展」審査協力
一次審査(OAC 会員社)
本審査(OAC 三上事務局長)
- 日本大学広告学研究会向けワークショップ
2024 年 7 月 13 日(土)
講師:三上事務局長

講師派遣

公益事業

うみぼす 甲子園 審査員派遣

同コンテストにて審査協力の依頼があり、
2024 年 11 月 3 日(日)
(株)電通クリエイティブピクチャーズ 田代 宏之氏
に審査をお願いしました。

講師派遣

公益事業

学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会

専門学校より「専修学校の専門課程における職業実践専門課程の認定に関する規程」に基づく依頼。

◇ 学校関係者評価委員会

仙台デザイン&テクノロジー専門学校

2024 年 6 月 29 日・2025 年 2 月 2 日

溝川 誠司 理事

東京デザイン専門学校 2025 年 1 月 28 日

梶原 鉄也 理事

◇ 教育課程編成委員会

東京デザイン専門学校

2024 年 10 月 23 日・11 月 25 日

宇垣 恵一 専務理事

日本電子専門学校

2024 年 9 月 5 日・2025 年 3 月 13 日

(株)電通クリエイティブピクチャーズ 田代 宏之氏

溝川 誠司 理事

町田デザイン&建築専門学校

2024 年 8 月 26 日・2025 年 3 月 4 日

(株)ホシ・デザイン 服部 吾郎氏

◇ ポートフォリオ講習会

日本電子専門学校

2025 年 1 月 30 日

(株)ジェイスリー 木下 幸弘氏

(株)たきコーポレーション 天明 久尚氏

(株)たきコーポレーション 吉村 早智氏

◇ ポートフォリオ講習

専門学校日本デザイナー学院

2025 年 2 月 15 日

溝川 誠司 理事

「これからの制作会社を考える：全国アンケート 2024」

50周年を迎え、当協会として初めて全国の制作会社の皆さんにアンケートを実施いたしました。
設問数を欲張り過ぎたかもしれませんが、22社よりご回答いただきました。

アンケート実施期間

2024年8月5日(月)～9月6日(金)

送付数 全国467社(QRコード・WEB回答方式)

回答件数 22社

回答率 4.7%

設問内容【大項目】

- 回答者の属性について
- 働き方に関する設問
- コロナ禍を経た経営状況について
- 得意先との関係等について
- 生成AIについて
- 採用について
- これからの制作会社・クリエイティブのあり方
- 日本広告制作協会(OAC)に関すること

【主要な回答】

Q. コロナ禍を挟み従来から変わった点

- 「企画・コンサル力が重視されている」
- 「経営的視点を求められている」
- 「要求されるレベルの多様化」
- 「マーケティング的要求の高まり」
- 「ビジュアルだけではなくデザイン範囲の広がり」
- 「クリエイターの専門性が求められてきた」

上記の回答比率が高く、逆に言うと企業側もコロナ禍という予測不能な時を過ごし、変化に対応できるアイデアや発想を求める時代になってきたと言えます。

Q. これからのプロフェッショナルの資質とは

- 「クリエイターは不透明な時代の道先案内人になるべき…偏ったクリエイティブだけを武器にしては通用しない」

など、経営的視点を求められ、企画・コンサル・提案力が求められてきている以上、今後ますますクリエイターは学び続けていかないといけないようです。これらは地域に関係なく共通した課題なのだと感じました。

アンケートの集計結果はコチラ

<https://www.oac.or.jp/news/1425/>

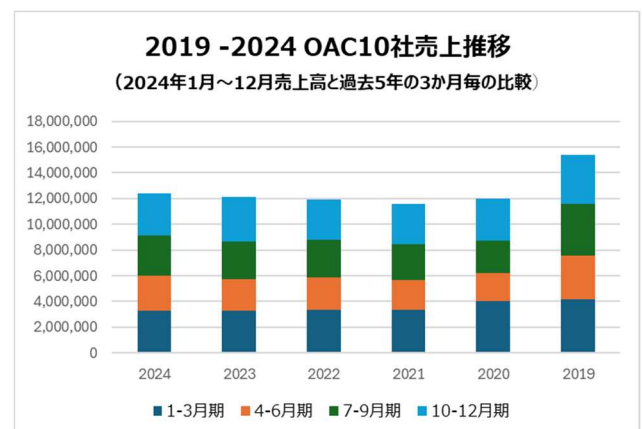
セーフティネット5号保証調査への協力

コロナ禍で経営状況業況の悪化している業種に対しての貸付を行うセーフティネット5号保証。

当協会では2024年度も経済産業省よりの依頼のもと、日本標準産業分類(4151：広告制作業)において調査を実施。今期は四半期ごと4回実施。

OACでは10社にご協力いただき、各月ごとの総額を算出。その数字を基準に、中小企業基盤整備機構による、各月の中小企業景況調査や物価に関する資料で得た指数を全国の制作会社(3000社と仮定)に乘じ、推計。

ご協力いただいている10社の皆さまには感謝申し上げます。



※数値はさておき、グラフの傾向をご覧ください。

2024年の年間売上高は、2019年(コロナ以前)を除き上回りました(対2019年では80.5%)。

また、4-6月期・7-9月期が特に売上高が高くなっている傾向にありました。

もちろん、各社によって差異はありますが、徐々にではありますが、回復傾向であることがうかがえます。

情報交流

公益事業

広告関係 23 団体との情報交換に参加。オンラインでの開催が主でしたが、リアルでの開催も行われました。

また、理事長・専務理事にて協力体制の樹立に向けて動き、(公社)日本アドバイザーズ協会(JAA)・(一社)日本アドコンテンツ制作協(JAC)・(一社)Interactive Communication Experts(I.C.E.)・(一社)日本新聞協会等との情報交換を図り、今後に繋げる機会としました。

会員企業相互の発展に向けて

その他、共益事業

広告制作会社向け E&O 保険

現在 16 社の会員社が加入している E&O 保険 (Errors「過失」、Omissions「怠慢」の略)。本年度の事務手数料は 249,130 円となり、共益事業収入に割り振っています。

出版・広告

収益事業

CREATOR2025 誌 発刊

今号の出稿会員社は、

◇ 記事体広告 24 社 <前号26社2社減>

◇ 純広告 6 社 <前号 6 社:増減なし>

◇ 個人クリエイター紹介頁2 社

<前号 1 社:1 社増>

今後も自社のブランディング向上とその周知に、お役立っていただければと思います。

コンテンツ東京 2024 後援

開催期間・場所

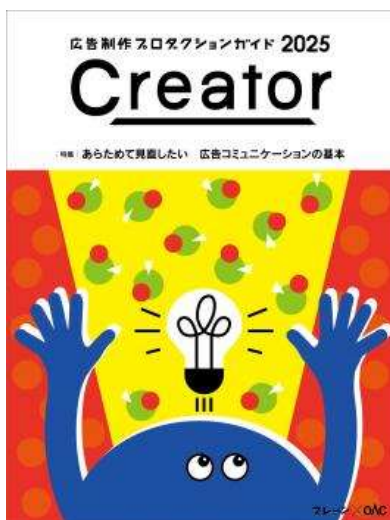
1. 2024 年 7 月 3 日(水)~5 日(金)

国際展示場(東京ビッグサイト)

2. 2024 年 11 月 20 日(水)~22 日(金)

幕張メッセ

コンテンツ制作、映像・CG 制作、ブランディング、マーケティング、権利、IT、最先端の表現技術などの企業が出展するコンテンツ東京。OAC 会員社も多く出展していますが、OAC は後援団体の一つとして協力しています。提供いただいている当協会のブースでは、OAC の PR に努めています。



OAC 創立 50 周年記念交流会

開催日:2024年 6 月 13 日(木)

会場:グレースバリ銀座

本会に先立ち、事務局では過去の資料を紐解き、50 年間で 15 分程度の映像にまとめました。

<https://www.youtube.com/watch?v=1T9Sk0PEUWI&t=4s>



当日は冒頭に本映像をご覧いただき、会はスタート。

様々な変化に対応しながらの 50 年。

クリエイターの制作環境もアナログからデジタルへの変化、そして生成 AI の登場と、コロナ禍を経て時代は大きく変化してきました。でも時代を遡れば、常に変化の連続。ちなみに、1974 年の OAC 会報誌第 1 号に会員各社の企業広告が載っていて、株式会社サン・アドさんのページにはこんな言葉がありました。

洪水時代も何とかやった。

ペストの時代も何とかやった。

ピカドンも、焼跡も、何とか切り抜けた。

だから、いまでも、何とかなるはずだ。

何とかやれることが、あるはずだ。

やったことのないことが、あるはずだ。

この後を続けるなら、不況・景況、大震災もコロナ禍も何とか切り抜けた。だから変化するのは当然だ。デザイン・クリエイティブで まだまだやれることがあるはずだ。挑戦し研鑽し続け、皆さまと共に新たな時代を創りあげていきましょう。

OAC 新年賀詞交歓会

開催日:2025年 1 月 15 日(水)

会場:グレースバリ銀座

新たな時代の幕開けを皆さんの交流を通して行いました。



若手クリエイターの方も参加され、また新たに入会された方々による自己紹介タイムなど和やかに会は進行。新たな出会いとともに、2025 年を実り多い年にしていきましょう。

2024 年度 その他事項

個人会員の創設

2024 年 5 月 30 日開催の総会で承認。
同年 9 月以降に、2 名が加入。

企業・団体からの相談

- 高校生を対象にした「うみぼす 甲子園」運営団体（一社）海洋連盟より、審査協力依頼。
会員社に声掛けし、3 名を推薦。1 名に決定。
- 生成 AI 開発企業より、その試験運用へのヒアリングを行いたいと打診あり。
会員社に連絡し、数社が協力。

OAC サイトリニューアル

2024 年度の事業予算に組み込んでいませんが、
下記の理由によりリニューアルを実施

- 会員社の紹介を充実させ、パートナー探しの企業などにアピール出来るものに。
- 事業内容など、よりスピーディに掲載できる仕組みづくりへ。
- 従来更新費などに 150 万ほどの費用が掛かっていたものを 2025 年度以降、大幅に削減したく、基本事務局での更新に切り替える。

なお、会員社紹介に関しては、正会員情報から始め、現在も実施中。

まだ情報をいただいていない皆さんは、会社アピールにぜひご活用いただければ幸いです。

各委員会活動

コロナ禍以降の働き方の変化に伴い、リアルでの参加は減少気味。オンライン参加も自由としていますが、仕事の業務量も回復傾向にあり、参加が難しい傾向にもあるのかもしれません。

しかしながら、AI のことや選ばれる制作会社のことなどを討議する会では参加者も多く、興味のある内容を如何につくっていくか、参加して有意義と思える内容を今後更に検討していく必要があるのではないかと考えています。

皆様より忌憚ないご意見をいただき、より充実した委員会活動にしていきたいと思います。

2024 年度決算報告及び監査報告 承認の件

貸借対照表	26
財産目録	27
正味財産増減計算書	28・29
正味財産増減計算書 内訳表	30・31
財務諸表に対する注記	32
附属明細書	33
事業報告附属明細書	34
事業報告附属明細書（未来を拓くニッポン・デザイン展 費用内訳）	35
監査報告	36

貸借対照表

2025年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	15,072,275	17,918,751	△ 2,846,476
未収会費	120,000	120,000	0
前払費用	353,048	353,048	0
流動資産合計	15,545,323	18,391,799	△ 2,846,476
2. 固定資産			
1) 特定資産			
預り保証金特定預金	1,700,000	1,700,000	0
退職給付特定預金	2,075,000	1,700,000	375,000
50周年事業特定預金		2,736,000	△ 2,736,000
2) その他固定資産			
敷金・保証金	2,000,000	2,000,000	0
固定資産合計	5,775,000	8,136,000	△ 2,361,000
資産合計	21,320,323	26,527,799	△ 5,207,476
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,556	6,711	△ 155
未払費用	21,090	161,043	△ 139,953
預り金	184,817	216,382	△ 31,565
流動負債合計	212,463	384,136	△ 171,673
2. 固定負債			
退職給付引当金(役員用積立額)	2,075,000	1,700,000	375,000
預り保証金	1,700,000	1,700,000	0
固定負債合計	3,775,000	3,400,000	375,000
負債合計	3,987,463	3,784,136	203,327
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	17,332,860	22,743,663	△ 5,410,803
負債・正味財産合計	21,320,323	26,527,799	△ 5,207,476

財産目録

2025年3月31日現在

(単位:円)

科 目	場所・物量・内容等	使用目的等	金 額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			(15,072,275)
	現金手許有高	運転資金として	179,407
	普通預金 みずほ銀行 赤坂支店	運転資金として	2,936,897
	普通預金 みずほ銀行 銀座中央支店	税金取扱い口座として	731,306
	普通預金 三井住友銀行 赤坂支店	会費自動振替分として	10,224,665
	定期預金 みずほ銀行 銀座中央支店	運転資金として	1,000,000
未収会費			(120,000)
	2024年度会費(正会員1社・賛助会員1社)	会費	120,000
前払費用			(353,048)
	銀座吉澤ビル賃料(2025年4月分) 家賃		353,048
流動資産合計			15,545,323
2. 固定資産			
1) 特定資産			
預り保証金特定預金	定期預金 みずほ銀行 銀座中央支店	退会時返却用の預り金(17社分)	(1,700,000)
退職給付特定預金	普通預金 みずほ銀行 銀座中央支店	退職給付引当金口座として	(2,075,000)
2) その他固定資産			
敷金・保証金	銀座吉澤ビル敷金・保証金	共用財産であり、公益事業に80%、 収益事業に10%、その他事業に3%、 法人管理運営費に7%を充てている	(2,000,000)
固定資産合計			5,775,000
資産合計			21,320,323
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			(6,556)
	NTT電話料金 3月分		6,556
未払費用			(21,090)
	(株)大塚商会 3月分		21,090
預り金			(184,817)
	厚生年金保険料		37,515
	健康保険料		23,576
	所得税(3月分)		89,220
	市区民税(3月分)		21,000
	源泉所得税204条(3月分)		13,506
流動負債合計			212,463
2. 固定負債			
退職給付引当金			(2,075,000)
			2,075,000
預り保証金			(1,700,000)
	正会員(17社分)		1,700,000
固定負債合計			3,775,000
負債合計			3,987,463
正味財産合計			17,332,860

正味財産増減計算書

2024年4月1日～2025年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
I. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,194	91	1,103
特定資産運用益計	1,194	91	1,103
受取会費等			
正会員受取会費	13,160,000	14,090,000	△ 930,000
賛助会員受取会費	6,180,000	6,600,000	△ 420,000
新正会員受取入会金	150,000	100,000	50,000
新正会員受取会費	150,000	360,000	△ 210,000
新賛助会員受取会費	110,000	0	110,000
新個人会員会費受取入会金	40,000	0	40,000
新個人会員会費受取会費	45,000	0	45,000
受取会費等計	19,835,000	21,150,000	△ 1,315,000
事業収益			
広告料収益	3,531,000	3,344,000	187,000
参加料収益	292,500	0	292,500
販売収益	1,000	1,000	0
事業収益計	3,824,500	3,345,000	479,500
雑収益			
受取利息	10,410	224	10,186
雑収益	825,107	804,450	20,657
雑収益計	835,517	804,674	30,843
経常収益計	24,496,211	25,299,765	△ 803,554
(2) 経常費用			
事業費			
1. 人件費			
役員報酬	4,275,000	4,845,000	△ 570,000
給与手当	4,478,160	4,703,760	△ 225,600
法定福利費	793,832	850,333	△ 56,501
人材派遣費(事務局1名)	2,612,806	2,843,995	△ 231,189
役員退職金積立	363,750	403,750	△ 40,000
人件費計	12,523,548	13,646,838	△ 1,123,290
2. 事務所関係費			
家賃	3,770,554	3,770,554	0
水道光熱費	208,925	197,634	11,291
事務所関係費計	3,979,479	3,968,188	11,291
3. 諸費			
通勤交通費	434,453	529,985	△ 95,532
会議費	94,224	307,869	△ 213,645
会場費	252,000	100,000	152,000
図書費	0	1,826	△ 1,826
旅費交通費	261,323	216,706	44,617
通信運搬費	258,381	178,461	79,920
事務消耗品費	237,868	239,889	△ 2,021
広告宣伝費	66,000	86,399	△ 20,399
印刷費	310,070	278,661	31,409
支払い手数料(ZOOM契約2アカウント)	58,750	146,300	△ 87,550
リース料	88,572	181,452	△ 92,880
諸謝金(アワード副賞)	70,000	448,877	△ 378,877
諸謝金(講師料)	122,507	(上記は講師料含む総額)	122,507
諸会費(支払負担金)	60,000	60,000	0
委託費	2,425,500	2,294,600	130,900
サイト運営費	2,801,503	1,511,349	1,290,154
修繕費	151,951	122,293	29,658
雑費	50,000	56,000	△ 6,000
50周年事業費	2,485,500	264,000	2,221,500
※未来を拓くニッポン・デザイン展費用			
諸費計	10,228,602	7,024,667	3,203,935
事業費計	26,731,629	24,639,693	2,091,936

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
1. 人件費			
役員報酬	225,000	255,000	△ 30,000
給与手当	285,840	300,240	△ 14,400
法定福利費	50,670	54,277	△ 3,607
人材派遣費	322,930	351,505	△ 28,575
役員退職金積立	11,250	21,250	
人件費計	895,690	982,272	△ 86,582
2. 事務所関係費			
家賃	466,022	466,022	0
水道光熱費	25,822	24,427	1,395
事務所関係費計	491,844	490,449	1,395
3. 諸費			
福利厚生費	11,507	0	11,507
通勤交通費	27,731	33,829	△ 6,098
図書費	72,800	72,380	420
旅費交通費	30,996	20,976	10,020
通信運搬費	124,088	131,174	△ 7,086
事務消耗品費	171,296	211,276	△ 39,980
渉外費	31,570	0	31,570
印刷費	21,620	4,920	16,700
支払手数料	203,691	200,230	3,461
支払報酬	873,036	873,381	△ 345
支払保険料	0	19,650	△ 19,650
リース料	13,596	13,596	0
公租公課	132,000	72,900	59,100
修繕費	73,920	73,920	0
雑費		28,050	△ 28,050
諸費計	1,787,851	1,756,282	31,569
管理費計	3,175,385	3,229,003	△ 53,618
経常費用計	29,907,014	27,868,696	2,038,318
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,410,803	△ 2,568,931	△ 2,841,872
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,410,803	△ 2,568,931	△ 2,841,872
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計		0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,410,803	△ 2,568,931	△ 2,841,872
当期一般正味財産増減額	△ 5,410,803	△ 2,568,931	△ 2,841,872
一般正味財産期首残高	22,743,663	25,312,594	△ 2,568,931
一般正味財産期末残高	17,332,860	22,743,663	△ 5,410,803
II 指定正味財産増減の部			
特定資産受取利息	1,194	91	1,103
特定資産運用益計	1,194	91	1,103
一般正味財産への振替額	1,194	91	1,103
一般正味財産への振替額計	△ 1,194	△ 91	△ 1,103
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	17,332,860	22,743,663	△ 5,410,803

雑収益の 835,517 円は、タクシー協会協賛金 531,300 円・OAC E&O 保険事務手数料 249,130 円・三陸鉄道カレンダーパンフ印刷等 44,677 円・受取利息 10,410 円の合計。

正味財産増減計算書 内訳表

2024年4月1日～2025年3月31日まで

(単位:円)

科目	2024年度 実績	2024年度 予算	増減	2024年度公益目的事業		2024年度収益等事業			法人会計
				公I	(合計)	収I	共益	(合計)	
I 一般正味財産増減の部									
I. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
特定資産運用益	1,194	0	1,194		0			0	1,194
特定資産受取利息	1,194	0	1,194		0			0	1,194
受取会費等(※1)	19,835,000	22,030,000	△ 2,195,000	13,884,500	13,884,500	0	991,750	991,750	4,958,750
正会員受取会費	13,160,000	13,560,000	△ 400,000	9,212,000	9,212,000		658,000	658,000	3,290,000
賛助会員受取会費	6,180,000	6,300,000	△ 120,000	4,326,000	4,326,000		309,000	309,000	1,545,000
新正会員受取入会金	150,000	1,120,000	△ 970,000	105,000	105,000		7,500	7,500	37,500
新正会員受取会費	150,000	990,000	△ 840,000	105,000	105,000		7,500	7,500	37,500
新賛助会員受取会費	110,000	60,000	50,000	77,000	77,000		5,500	5,500	27,500
新個人会員受取会費入会金	40,000		40,000	28,000	28,000		2,000	2,000	10,000
新個人会員受取会費	45,000		45,000	31,500	31,500		2,250	2,250	11,250
事業収益合計	4,660,017	4,040,000	620,017	869,477	869,477	3,531,000	249,130	3,780,130	10,410
広告料収益合計	3,531,000	3,166,000	365,000	0	0	3,531,000	0	3,531,000	0
クリエイター2025 会員社頁掲載料	2,805,000	2,308,000	497,000		0	2,805,000		2,805,000	
クリエイター2025 広告掲載料	660,000	792,000	△ 132,000		0	660,000		660,000	
OACサイトバナー広告	66,000	66,000	0		0	66,000		66,000	
参加料収益	292,500	150,000	142,500	292,500	292,500	0	0	0	
CREATOR FEST	52,500		△ 97,500	52,500	52,500			0	
経営委員会セミナー	240,000	150,000	240,000	240,000	240,000				
販売収益	1,000	0	1,000	1,000	1,000	0	0	0	0
三陸鉄道カレンダー販売収益	1,000	0	1,000	1,000	1,000			0	
雑収入	835,517	724,000	111,517	575,977	575,977	0	249,130	249,130	10,410
受取利息	10,410		10,410		0			0	10,410
OAC総合賠償責任保険事務手数料	249,130	254,000	△ 4,870		0		249,130	249,130	
三陸鉄道カレンダー(パンフ印刷等)	44,677		44,677	44,677	44,677				
タクシー協会 協賛金	531,300	470,000	61,300	531,300	531,300			0	
【経常収益計】	24,496,211	26,070,000	△ 1,573,789	14,753,977	14,753,977	3,531,000	1,240,880	4,771,880	4,970,354
(2) 経常費用									
<事業費>									
人件費	12,523,548	12,467,470	56,078	12,174,278	12,174,278	174,635	174,635	349,270	0
役員報酬	4,275,000	4,275,000	0	4,275,000	4,275,000	0	0	0	
給料手当	4,478,160	4,478,160	0	4,287,600	4,287,600	95,280	95,280	190,560	
法定福利費	793,832	821,560	△ 27,728	760,052	760,052	16,890	16,890	33,780	
人材派遣費	2,612,806	2,536,500	76,306	2,495,376	2,495,376	58,715	58,715	117,430	
役員退職金積立	363,750	356,250	7,500	356,250	356,250	3,750	3,750	7,500	
事務所関係費	3,979,479	3,969,400	10,079	3,800,625	3,800,625	89,427	89,427	178,854	0
家賃	3,770,554	3,773,600	△ 3,046	3,601,090	3,601,090	84,732	84,732	169,464	
水道光熱費	208,925	195,800	13,125	199,535	199,535	4,695	4,695	9,390	
諸費	10,228,602	6,543,600	3,685,002	7,763,730	7,763,730	2,445,186	19,686	2,464,872	0
通勤交通費	434,453	413,600	20,853	415,965	415,965	9,244	9,244	18,488	
会議費(セミナー・研修等・他団体合参加)	94,224	236,000	△ 141,776	94,224	94,224				
会場費(経営委員会セミナー)	252,000	200,000	52,000	252,000	252,000				
旅費交通費	261,323	307,000	△ 45,677	261,323	261,323		0	0	
通信運搬費	258,381	271,000	△ 12,619	258,381	258,381	0		0	
事務消耗品費	237,868	189,000	48,868	237,868	237,868				
広告宣伝費	66,000	80,000	△ 14,000	66,000	66,000				
渉外費	0	30,000	△ 30,000		0				
印刷費	310,070	234,000	76,070	310,070	310,070				
支払手数料(ZOOM契約2アカウント)	58,750	45,000	13,750	58,750	58,750				
リース料	88,572	89,000	△ 428	75,286	75,286	6,643	6,643	13,286	
諸謝金(アワード副賞)	70,000	140,000	△ 70,000	70,000	70,000				
諸謝金(講師料)	122,507	380,000	△ 257,493	122,507	122,507				
諸会費	60,000	60,000	0	60,000	60,000				
委託費(クリエイター誌 編集・発刊)	2,425,500	2,170,000	255,500		0	2,425,500		2,425,500	
修繕費	151,951	179,000	△ 27,049	144,353	144,353	3,799	3,799	7,598	
サイト運営費	2,801,503	1,470,000	1,331,503	2,801,503	2,801,503				
雑費(東京学生広告研究団体連盟協賛費)	50,000	50,000	0	50,000	50,000				
50周年事業費	2,485,500		2,485,500	2,485,500	2,485,500				
※未来を拓くニッポン・デザイン展費用									
事業費計	26,731,629	22,980,470	3,751,159	23,738,633	23,738,633	2,709,248	283,748	2,992,996	0

(単位:円)

科目	2024年度 実績	2024年度 予算	増減	2024年度公益目的事業		2024年度収益等事業			法人会計
				公Ⅰ	(合計)	収Ⅰ	共益	(合計)	
管理費									
人件費	895,690	895,530	160	0	0	0	0	0	895,690
役員報酬	225,000	225,000	0		0			0	225,000
給与手当	285,840	285,840	0		0			0	285,840
法定福利費	50,670	52,440	△ 1,770		0			0	50,670
人材派遣費	322,930	313,500	9,430		0			0	322,930
役員退職金積立	11,250	18,750	△ 7,500		0			0	11,250
事務所関係費	491,844	490,600	1,244	0	0	0	0	0	491,844
家賃	466,022	466,400	△ 378		0			0	466,022
水道光熱費	25,822	24,200	1,622		0			0	25,822
諸費	1,787,851	1,703,400	84,451	0	0	0	0	0	1,787,851
福利厚生費	11,507	0	11,507		0			0	11,507
通勤交通費	27,731	26,400	1,331		0			0	27,731
図書費	72,800	75,000	△ 2,200		0			0	72,800
旅費交通費	30,996	0	30,996		0			0	30,996
通信運搬費	124,088	175,000	△ 50,912		0			0	124,088
事務消耗品費	171,296	115,000	56,296		0			0	171,296
渉外費	31,570	0	31,570		0			0	31,570
印刷費	21,620	0	21,620		0			0	21,620
支払手数料	203,691	226,000	△ 22,309		0			0	203,691
支払報酬	873,036	874,000	△ 964		0			0	873,036
リース料	13,596	14,000	△ 404		0			0	13,596
公租公課	132,000	132,000	0		0			0	132,000
修繕費	73,920	66,000	7,920		0			0	73,920
管理費計	3,175,385	3,089,530	85,855	0	0	0	0	0	3,175,385
【経常費用計】	29,907,014	26,070,000	3,837,014	23,738,633	23,738,633	2,709,248	283,748	2,992,996	3,175,385
*事業比率	100%				79.4%	9.1%	0.9%	10.0%	10.6%
【評価損益等調整前当期経常増減額】	△ 5,410,803	0	△ 5,410,803	△ 8,984,656	△ 8,984,656	821,752	957,132	1,778,884	1,794,969
【評価損益等計】									
【当期経常増減額】	△ 5,410,803	0	△ 5,410,803	△ 8,984,656	△ 8,984,656	821,752	957,132	1,778,884	1,794,969
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
【経常外収益計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
【経常外費用計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【当期経常外増減額】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額計】(※2)	0			889,442	889,442	△ 410,876	△ 478,566	△ 889,442	0
【当期一般正味財産増減額】	△ 5,410,803		△ 5,410,803	△ 8,095,214	△ 8,095,214	410,876	478,566	889,442	1,794,969
一般正味財産期首残高】	22,743,663	22,743,663	0	△ 31,914,519	△ 31,914,519	△ 1,301,677	7,170,571	5,868,894	48,789,268
【一般正味財産期末残高】	17,332,860	22,743,663	△ 5,410,803	△ 40,009,733	△ 40,009,733	△ 890,801	7,649,137	6,758,336	50,584,237
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
特定資産運用益計	1,194								1,194
特定資産受取利息	1,194								1,194
一般正味財産への振替額計	△ 1,194								△ 1,194
特定資産受取利息 振替額	△ 1,194								△ 1,194
【当期指定正味財産増減額】	0	0	0						
【指定正味財産期首残高】	0	0	0						
【指定正味財産期末残高】	0	0	0						
Ⅲ 正味財産期末残高	17,332,860	22,743,663	△ 5,410,803	△ 40,009,733	△ 40,009,733	△ 890,801	7,649,137	6,758,336	50,584,237

(※1) 会費の割振り	¥19,835,000
公益事業	70%
収益事業	0%
共益事業	5%
法人会計	25%

【他会計振替額について】(※2)

他会計振替額は、収益・共益事業の当期経常増減額

(収益事業821,752円・共益事業957,132円：合計1,778,884円)の
各々50% (合計889,442円) を公益事業に振替えています。

事業費率

(経常費用合計に対するそれぞれの費用割合)

公益事業	23,738,633	79.4%
収益等事業	2,992,996	10.0%
法人会計	3,175,385	10.6%
経常費用合計	29,907,014	100.0%

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 公益法人会計基準（平成 20 年基準）を採用し作成しています。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
法人税法に基づく旧定率法及び定率法を採用しております。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金 …… 常勤専務理事の退職に備えるため、期末要支給額の全額を計上しております。
- (4) 消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2. 指定正味財産から一般正味財産への振替額について

特定預金口座の利息額 1,194 円を振替えています。

3. 特定資産の増減額及びその残高

次頁の附属明細書のとおりであります。

なお、「預り保証金特定預金」は、2003 年（平成 15 年）4 月 25 日以前に入会された正会員には、入会に際して基本金として 10 万円を預り金として納入いただき、退会時等に返却することになっています。現在 17 社がその対象になっています（この預り金制度は、2003 年（平成 15 年）4 月 25 日以降入会の正会員からは廃止しています）。

4. 収益事業の「CREATOR 誌」について：関連当事者との取引の内容

公益法人化する以前の 1985 年より刊行している「CREATOR 誌」。発刊当初は、編集・デザイン・印刷・販売の全てを行っていたが、その労力も大きく、2015 年以降は、(株)宣伝会議に編集・デザイン・印刷・販売までを委託しています。

なお、公益法人法における関連当事者との取引の内容について、2019 年 6 月に(株)宣伝会議より理事に就任いただき、2021 年 4 月開催の理事会にて、就任後に発刊した 2 号について過去に遡りその委託を承認。ならびに 2021 年度発刊の同誌についての委託を承認。

なお、委託費は掲載料収入の 70%を編集・デザイン・印刷・販売費用として支払っている。

この基準を順守し、取引を継続している。

今回の収支は、以下の通りです。

収入（会員社掲載料 24 社・純広告 6 社・creators index3 名）	3,465,000
費用（委託費：宣伝会議＜編集・デザイン・印刷・販売＞）	2,425,500

収支差額 ￥1,039,500-

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

	資産の種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価格
特定資産	退職給付特定預金	1,700,000	375,000	0	2,075,000
	預り保証金特定預金	1,700,000	0	0	1,700,000
	50周年事業特定預金	2,736,000	0	2,736,000	0
特定資産合計		6,136,000	375,000	2,736,000	3,775,000

- ※ 50周年事業特定預金の減少額は、展覧会「未来を拓くニッポン・デザイン」展費用。
 300万円の積立に対し、昨年の使用が264,000円にて期首価格は2,736,000円。
 なお実際には本年度は2,485,500円を使用。差額の250,500円は一般正味財産に組み入れました。

2. 特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に対する額
退職給付特定預金	2,075,000	0	2,075,000	2,075,000
預り保証金特定預金	1,700,000	0	1,700,000	1,700,000
50周年事業特定預金	0		0	0
特定資産合計	3,775,000	0	3,775,000	3,775,000

事業報告附属明細書

➤ 正味財産増減計算書（内訳表）会費の振り分けに関して

本年度も、公益目的事業での実質費用は昨年度とほぼ同等となり、会費の振り分けは昨年同様の以下の通りとした。

公益目的事業 70%（前年度：70%）

共益目的事業 5%（前年度：5%）

法人会計 25%（前年度：25%）

➤ 正味財産増減計算書（内訳表）費用配布割合に関して

公益法人では費用項目を公益目的事業・収益等事業・法人会計に按分して記載（人件費等はその事業への従事した割合・家賃等はその事業に使用している割合・そしてある事業に直接関連するものは直接費用）としています。本年度も配布割合は昨年同様とし、以下のように按分いたしました。

		公益目的事業	収益等事業	共益事業	法人会計	
人件費	専務理事	95%	0%	0%	5%	従事割合
	事務局長	90%	2%	2%	6%	従事割合
	派遣：経理・総務	85%	2%	2%	11%	従事割合
家賃	家賃・光熱費	85%	2%	2%	11%	使用割合
	通勤交通費	90%	2%	2%	6%	従事割合

※リース料は従来の割合を踏襲し、その他の費用は、ある事業に関連した直接対応費用となっています。

➤ 会費収入に関して

2023 年、コロナ禍明けではありましたが経営難等により18社の退会があり2024年度は厳しい状況からのスタート。事業予算における会費項目は目標値を含め、22,030,000 円と設定。決算では、19,835,000 円でしたので、対予算額では90%。前年度実績比では（前年実績 21,150,000 円）94%の結果となりました。個人会員を含む7社（名）の入会がありましたが、7社が退会と会員数の増減はありませんでした。

➤ 増加した費用等に関して

50周年事業の「未来を拓くニッポン・デザイン」展に関する費用は、積立額から取り崩しておりますが、経常費用額として計上する必要があり本年度使用分の 2,485,500 円を記載。

また、会員社の PR、そして当協会の PR の向上のために OAC サイトをリニューアル。1,603,000 円を計上しています。合計 4,088,500 円。この費用を除くと、当期の経常増減額は、△5,410,803 円ですので、実質は 1,322,303 円のマイナスとなります。なお、サイト更新費用に関しては、従来サーバ契約を含め150万ほどの費用でしたが、2025年度以降は事務局での更新を中心とし120万ほど削減する予定です。

未来を拓くニッポン・デザイン展に関して（費用内訳）

（開催日：2024 年 5 月 17 日（金）～19 日（日） 渋谷ヒカリエ 8/COURT）

特定資産準備費用	2022年・2023年積立額	¥3,000,000
----------	----------------	------------

支出（税込）

費目	単価	数		数	小計	内訳	支払先	合計
2023年度	88,000	3	日		264,000	ヒカリエ会場費	2023年度 取崩し	264,000
							差し引き期末残高	¥2,736,000

費目	単価	数		数	小計	内訳	支払先	合計
会場費関係	22,000	3	日		66,000	照明設備	ヒカリエ	170,500
	33,000	3	日		99,000	Information Display		
	1,100	2	日	2	4,400	丸テーブル(高)		
	1,100	1	日	1	1,100	丸テーブル(低)		
印刷費関係	11,428	1	式		11,428	OACチラシ印刷 300部 (プリントパック)	プリントパック	33,793
	9,740	1	式		9,740	OACメッセージパンフ 500部 (プリントパック)		
	7,245	1	式		7,245	OACメッセージパンフ日 1,100部 (プリントパック)		
	5,380	1	式		5,380	OAC各社パンフ 1,600部 (プリントパック)		
発送費関係	250	1	枚		250	ポスターケース (ヤマト運輸)	ヤマト運輸	10,807
	11,221	1	件		1,221	新潟県きっかわパンフレット発送 (ヤマト運輸)		
	140	1	件		140	同上 発送用箱購入 (ヤマト運輸)		
	1,221	1	件		1,221	ヒカリエ宛備品発送80サイズ (ヤマト運輸)		
	1,529	1	件		1,529	ヒカリエ宛ポスター発送100サイズ (ヤマト運輸)		
	1,221	1	件		1,221	ヒカリエ宛パンフレット発送80サイズ (ヤマト運輸)		
	1,848	1	件		1,848	ヒカリエ宛パンフレット発送120サイズ (ヤマト運輸)		
	1,529	1	件		1,529	ヒカリエ宛パンフレット発送100サイズ (ヤマト運輸)		
	1,848	1	件		1,848	ヒカリエ宛パンフレット発送120サイズ (ヤマト運輸)		
翻訳料	110,000	1	件		110,000	英訳 (織田 圭子)	織田 圭子様	110,000
パネル製作	561,000	1	式		561,000	展示パネル (ショウエイ)	(株)ショウエイ	561,000
会場設営	1,599,400	1	式		1,599,400	会場設営費 グローブマーケティング(株)	グローブマーケティング(株)	1,599,400
						2024年度 取崩し額	費用合計	¥2,485,500

総費用（取崩し額）	¥2,749,500
-----------	------------

差引残高	¥250,500
------	----------

- ※ 積立額以内で終了しました。
- ※ 積立金の 300 万は前年度までに貸借対照表に記載。
- なお、2023 年度決算では、ヒカリエ会場費（前払い）264,000 円を消化し、期首帳簿額は 2,736,000 円。
- ※ 正味財産増減計算書には上記費用のうち、2024年度に使用した2,485,500円を記載しています。
- ※ 残額の250,500円は一般正味財産に算入に算入（貸借対照表・財産目録の現預金に）。

監査報告

公益社団法人 日本広告制作協会
理事長 名久井 貴詞 殿

2025年4月10日

公益社団法人 日本広告制作協会
監事 田村 壽孝



監事 村上 健



私たちは、2024年4月1日から2025年3月31日までの2024年度における会計及び業務の
監査を行い、次のとおり報告します。

1 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討しました。
- (2) 業務監査について、理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討しました。

2 監査意見

- | | |
|---|--|
| (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく示していると認めます。 | (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は、法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。 |
| (2) 事業報告の内容は正しく記載されていると認めます。 | |

以上